

公益財団法人群馬健康医学振興会 平成 29 年度事業報告書
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I. 公益目的事業

1. 「公1」県民の健康づくりのための研究助成・書籍発行・講師派遣事業

(1) 県民の健康づくりのための研究助成事業

1) 医学研究、調査及び教育に対する助成

群馬県内又は近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健・医療及び福祉関連職、教員、団体等不特定多数の医療従事者を対象に、年度内に行う研究又は事業で、当振興会の趣旨に沿った活動を募集のうえ、選考を行い、平成 29 年度は下記の 6 件に研究助成金を交付した。

番号	氏名	勤務先・職名	研究又は事業のテーマ	助成額 (万円)
1	古賀 康彦	群馬大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科 助教	群馬県内の結核患者における免疫再構築症候群の解析	30
2	徳江 浩之	群馬大学医学部附属病院放射線診断核医学 助教	群馬県内で診断・治療した癒痕部妊娠症例の患者背景と治療経過と予後についての検討	30
3	花村 健次	群馬大学大学院医学系研究科 神経薬理学 助教	認知機能低下に伴う神経シナプス形態変化の脳内イメージング解析	30
4	宮崎 将也	群馬大学医学部附属病院超音波診療センター 副センター長	高齢あるいは併存疾患を有する腎がん患者に対する経皮的凍結療法の確立と実践	30
5	武者 篤	群馬大学重粒子線医学推進機構 助教	放射線治療時の口腔・咽頭・喉頭部における粘膜炎発症線量の解析	30
6	山崎 友昭	群馬県済生会前橋病院 リハビリテーション室 室長	日本版 Functional Capacity Evaluation の開発とその有用性の検討	30
合 計				180

2) 第 117 回日本外科学会定期学術集会に対する助成

日本外科学会は、国民の健康増進確立と疾病治療のために活動する学術団体である。本学会の目的と活動は、外科学を通じて本邦のみならず

世界のあらゆる分野の医学の研究活動、医療の進歩に貢献するものである。

第117回日本外科学会定期学術集会(平成29年4月27日(木)~29日(土))は、国立大学法人群馬大学医学系研究科病態総合外科学分野桑野博行教授が主幹し、県内においても市民公開講座(平成29年4月30日(日))が開催された。

本学術集会を支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することが期待できるため、下記のとおり募金を行い、研究助成金として奨学・研究責任者 桑野教授に交付した。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成27年度	個人	49名	14,250,000円	
	法人	13名	7,300,000円	
	計	62名	21,550,000円	
平成28年度	個人	67名	13,965,000円	
	法人	19名	11,800,000円	
	計	86名	25,765,000円	
平成29年度	個人	1名	100,000円	
	計	1名	100,000円	
合 計	個人	117名	28,315,000円	
	法人	32名	19,100,000円	
	計	149名	47,415,000円	

3) 第64回日本臨床検査医学会学術集会及び第29回世界病理臨床検査医学会連合会議運営に対する助成

一般社団法人日本臨床検査医学会は、臨床検査医学(臨床病理学)の進歩・普及を図り、もってわが国の学術の発展と健康増進確立に寄与する学会である。

第64回日本臨床検査医学会学術集会(平成29年11月16日(木)~19日(日))、第29回世界病理臨床検査医学会連合会議(平成29年11月15日(水)~18日(土))及び第63回群馬県医学検査学会(平成29年12月17日(日))は、群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学講座主任兼群馬大学医学部附属病院検査部長 村上正巳教授が主幹となり開催された。

本学会を支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することが期待できるため、下記のとおり募金を行い、研究助成金として奨学・研究責任者 村上教授に交付した。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成29年度	個人	31名	4,330,000円	
	法人	21名	5,360,000円	
	計	52名	9,690,000円	

(2) 書籍発行事業

概ね5年毎の研究助成、講師派遣事業の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について、広く県民、地域住民に知らしめるための書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政などに寄贈すると共に一般の書店、病院で販売する。

平成元年4月に創刊後、これまでに5冊を発刊し、平成28年度に次刊(第6刊)を発刊することとした。

その後、書籍名を「“肥満と疾患：どこまで解明されたか?”」と定め、纏め役の群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学 山田正信教授のプランニングの下、下記のタイトルで各々著者に原稿依頼した。

当初、平成28年度の発刊を予定したが、原稿の校正等に時間を要したため平成29年8月15日3,000冊発刊し、平成29年度は下記のとおり頒布及び販売した。

1) 書籍のタイトル

目次	タイトル(仮題)	著者(敬称・所属略)
	発刊に寄せて	森川昭廣
	はじめに	山田正信
第1章	肥満とは	
1	肥満者は増加しているか?	森 昌朋
2	肥満とは? BMIとは?	大島喜八
3	肥満と肥満症の違い	岡田秀一
4	脂肪細胞と肥満	佐藤哲郎、吉野 聡
5	内臓脂肪と皮下脂肪の違い	麻生好正
6	末梢中枢連携と恒常性V S 報酬性摂食	矢田俊彦
7	エネルギー代謝と肥満	北村忠弘
第2章	肥満と疾患	
8	肥満とメタボリック症候群	中島康代
9	肥満と糖尿病	伴野祥一
10	肥満症と脂質異常症	犬飼敏彦
11	肥満と高血圧	倉林正彦
12	肥満と高尿酸血症	大山善昭、中村哲也
13	肥満と脂肪肝	柿崎 暁
14	肥満と睡眠時無呼吸症候群や呼吸障害	鶴巻寛朗、久田剛志
15	肥満と脳血管障害	朝倉 健
16	肥満と心疾患	安達 仁
17	肥満と整形外科的疾患、骨粗鬆症	高岸憲二、内田 訓、 下山大輔、大島淳史
18	肥満と消化器癌	星 恒輝、草野元康
19	肥満と月経異常	岸 裕司
20	肥満と認知症	池田佳生
21	肥満と慢性腎臓病 (CKD)	坂入 徹、廣村桂樹
22	肥満とサルコペニア	田澤昌之
23	小児の肥満	大津義晃、荒川浩一

第3章	肥満症の治療	
24	肥満の食事療法	齊賀桐子
25	肥満の運動療法	齋藤従道
26	肥満症の行動療法	松本俊一、山田正信
27	肥満の薬物治療	山田英二郎
28	肥満・糖尿病に対する外科治療	笠間和典、関 洋介
第4章	肥満研究最前線	
29	肥満は遺伝か？	橋本貢士
30	肥満の原因遺伝子はどこまでわかったか？	土屋天文
31	肥満と報酬系	下村健寿
32	脂肪細胞の最前線	登丸琢也
33	摂食調節メカニズム研究の最前線	佐々木 努

2) 頒布

番号	頒布先	頒布数	備考
1	理事長外職員検本・展示	13 冊	財団用
2	編集委員	15 冊	無償頒布
3	執筆者	33 冊	無償頒布
4	当財団役員・評議員	17 冊	無償頒布
5	賛助会員	104 冊	無償頒布
6	医学研究科教授会	80 冊	無償頒布
7	保健学研究科教授会	65 冊	無償頒布
8	同窓会役員	33 冊	無償頒布
9	日本肥満学会外	6 冊	無償頒布
10	群馬県健康福祉部医務課	270 冊	無償頒布
11	東和銀行	3 冊	無償頒布
12	群馬大学学長外幹部職員	53 冊	無償頒布
13	群馬県医師会	2 冊	無償頒布
14	健康支援総合センター	2 冊	無償頒布
15	医師賠償責任保険説明会	120 冊	無償頒布
16	県内医療系大学	12 冊	無償頒布
17	医学部講座・附属病院	107 冊	無償頒布
18	附属病院看護部	201 冊	無償頒布
19	同窓会役員(地区役員)	149 冊	無償頒布
20	県内肥満症外来病院	160 冊	無償頒布
21	放射線部・検査部・薬剤部	30 冊	無償頒布
22	県内肥満症外来医院・クリニック	100 冊	無償頒布
23	新規賛助会員	26 冊	無償頒布
	計	1,601 冊	

3) 販売

番号	販売先	販売数	備考
1	委託販売(上毛新聞社)	未集計(委託契約中)	500冊依頼
2	委託販売(同愛会)	4冊(委託契約中)	10冊依頼
3	根本俊和理事	10冊	
4	奈良純夫顧問	20冊	
	計	34冊	

(3) 地域医療の振興、地域住民の医学知識向上のための講師派遣事業

地域において健康づくりを目的とした講演を主催する公共の施設又は福祉を目的とする団体からの講師派遣の要請に応え、下記のとおり講師を派遣した。

1	派遣講師名	群馬大学大学院保健学研究科 リハビリテーション医学 准教授 山路 雄彦
	派遣日	平成29年11月16日 10時00分～11時40分
	派遣先	若宮地区老人クラブ連合会 会長 松村 尚志
	会場	若宮町三丁目公民館
	講演名	リハビリテーションの実際
	対象者	高齢者学級生
	聴講者	67名
2	派遣講師名	群馬大学大学院保健学研究科 看護学 教授 内田 陽子
	派遣日	平成30年2月16日 14時00分～15時30分
	派遣先	前橋市城南地区地域づくり協議会 地域福祉部会長 木村 浅治郎
	会場	前橋市城南公民館
	講演名	さわやか健康ライフを求めて ～排尿ケアを中心として～
	対象者	サロン運営者・担い手、地域福祉関係団体リーダー等
	聴講者	144名

II. 収益目的事業

1. 「収1」医師賠償責任保険の委託契約集金事務

株式会社 北栄を取扱代理店とする医師賠償責任保険の委託契約集金事務の実績は、下記のとおりであった。

摘要	加入者数	事務費	備考
団体医師賠償責任保険 (内、交通傷害特約付き)	2,304名 (1,102名)	5,532,038円	

Ⅲ. 管理事業

1. 賛助会員

賛助会員の募集を行い、次のとおり賛同者を得た。

区 分	員 数	口 数	会 費	備 考
個人会員	64名	166	830,000円	
法人会員	45名	46	2,300,000円	
計	109名	—	3,130,000円	

2. 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会の開催

定時(第15回)理事会開催 平成29年5月11日(木)

定時(第16回)理事会開催 平成29年10月5日(木)

定時(第17回)理事会開催 平成30年3月22日(木)

(2) 評議員会の開催

定時(第10回)評議員会開催 平成29年6月22日(木)

3. 公益法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査

(1) 検査日時 平成30年1月16日(火)

(2) 検査員 群馬県総務部学事法制課公益法人係 山崎主幹
群馬県総務部学事法制課公益法人係 鈴木主任

(3) 検査の結果 是正又は改善すべき措置等はなし

財産目録
平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	当座預金	ゆうちょ銀行	医学ガイド管理として	74,044	
	当座預金	ゆうちょ銀行	賛助会費管理として	3,152,890	
			当座預金・計	3,226,934	
	普通預金	東和銀行	運転資金として	2,138,966	
	普通預金	三井住友銀行	定期利息管理として	197,219	
	普通預金	みずほ銀行	運転資金として	113,056	
	普通預金	ゆうちょ銀行	書籍発刊管理として	135,728	
			普通預金・計	2,584,969	
小計			5,811,903		
	たな卸資産	書籍「健康医学ガイド6 “肥満と疾患：どこまで解明されたか” 859冊	公1：書籍発刊事業の在庫	1,391,580	
流動資産合計				7,203,483	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三井住友銀行	公益目的保有財産	10,000,000
特定資産	書籍発刊資金	東和銀行	特定費用準備資金	1,000,000	
特定資産	学術集会等支援資金	東和銀行	使途制約寄付金	35	
特定資産	研究寄附金	東和銀行	使途制約寄付金	3,000,027	
小計				4,000,062	
固定資産合計				14,000,062	
資産合計				21,203,545	
(流動負債)	未払法人税等	前橋税務署	平成30年3月期法人税	254,100	
	未払法人税等	前橋税務署	平成30年3月期地方法人税	11,100	
	未払法人税等	前橋行政県税事務所	平成30年3月期法人県民税等	111,800	
	未払法人税等	前橋市	平成30年3月期法人市民税	90,700	
小計				467,700	
	預り金	職員	源泉所得税等の預り金	43,393	
流動負債合計				511,093	
固定負債合計				0	
負債合計				511,093	
正味財産				20,692,452	

公益財団法人群馬健康医学振興会 理事、監事及び評議員に
対する報酬等の支給の基準を記載した書類

公益財団法人 群馬健康医学振興会定款第 12 条及び第 27 条の規定により、
理事、監事及び評議員の報酬は、無報酬とする。

<定款抜粋>

第 4 章 評議員

(報酬等)

第 12 条 評議員は無報酬とする。

2 前項の規定にかかわらず、評議員には費用を弁償することができる。

第 6 章 役員

(報酬等)

第 27 条 役員は、無報酬とする。

貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,811,903	4,507,826	1,304,077
たな卸資産	1,391,580	0	1,391,580
流動資産合計	7,203,483	4,507,826	2,695,657
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
書籍発刊資金	1,000,000	5,000,000	4,000,000
定期学術集会支援資金	35	1,715,213	1,715,178
研究寄付金	3,000,027	3,000,000	27
特定資産合計	4,000,062	9,715,213	5,715,151
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	14,000,062	19,715,213	5,715,151
資産合計	21,203,545	24,223,039	3,019,494
負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	467,700	0	467,700
預り金	43,393	6,410	36,983
流動負債合計	511,093	6,410	504,683
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	511,093	6,410	504,683
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,062	4,715,213	1,715,151
指定正味財産合計	3,000,062	4,715,213	1,715,151
2. 一般正味財産			
正味財産合計	17,692,390	19,501,416	1,809,026
負債及び正味財産合計	20,692,452	24,216,629	3,524,177
負債及び正味財産合計	21,203,545	24,223,039	3,019,494

正味財産増減計算書

平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位：円)


科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,000	0	1,000
受取会費			
賛助会員受取会費	3,130,000	2,355,000	775,000
事業収益			
保険事業収入	5,532,038	5,487,024	45,014
書籍販売収入	54,952	0	54,952
事業収益計	5,586,990	5,487,024	99,966
受取寄付金			
受取寄付金振替額	11,505,213	45,600,138	34,094,925
雑収益			
受取利息	77	3,177	3,100
経常収益計	20,223,280	53,445,339	33,222,059
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	4,860,465	0	4,860,465
期末たな卸高	1,391,580	0	1,391,580
給料手当	2,768,143	3,787,028	1,018,885
福利厚生費	153,613	250,232	96,619
旅費交通費	36,000	41,064	5,064
通信運搬費	266,076	153,945	112,131
消耗什器備品費	22,336	168,221	145,885
消耗品費	201,108	166,918	34,190
修繕費	30,407	18,576	11,831
印刷製本費	133,997	127,788	6,209
光熱水料費	27,842	32,640	4,798
賃借料	174,960	165,888	9,072
諸謝金	134,096	63,000	71,096
租税公課	131,950	258,500	126,550
支払助成金	12,729,963	45,420,138	32,690,175
委託費	446,659	0	446,659
会議費	194,874	143,426	51,448
広報活動費	99,360	135,000	35,640
支払手数料	42,050	0	42,050
雑費	2,250	195,990	193,740
事業費計	21,064,569	51,128,354	30,063,785
管理費			
給料手当	307,572	667,332	359,760
福利厚生費	17,068	62,558	45,490
会議費	21,653	0	21,653
旅費交通費	4,000	10,266	6,266
通信運搬費	29,564	38,486	8,922
消耗什器備品費	2,482	42,055	39,573
消耗品費	22,345	41,730	19,385
修繕費	3,379	4,644	1,265
印刷製本費	14,889	31,947	17,058
光熱水料費	3,094	8,160	5,066
賃借料	19,440	41,472	22,032
委託費	0	35,856	35,856
支払手数料	49,629	324,000	274,371
雑費	4,672	0	4,672
雑費	250	48,998	48,748
管理費計	500,037	1,357,504	857,467
経常費用計	21,564,606	52,485,858	30,921,252
評価損益等調整前当期経常増減額	1,341,326	959,481	2,300,807
当期経常増減額	1,341,326	959,481	2,300,807
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,341,326	959,481	2,300,807
法人税、住民税及び事業税	467,700	0	467,700
当期一般正味財産増減額	1,809,026	959,481	2,768,507
一般正味財産期首残高	19,501,416	18,541,935	959,481
一般正味財産期末残高	17,692,390	19,501,416	1,809,026
指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	9,790,062	28,765,351	18,975,289
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	11,505,213	45,600,138	34,094,925
当期指定正味財産増減額	1,715,151	16,834,787	15,119,636
指定正味財産期首残高	4,715,213	21,550,000	16,834,787
指定正味財産期末残高	3,000,062	4,715,213	1,715,151
正味財産期末残高	20,692,452	24,216,629	3,524,177

平成 30 年 5 月 7 日

公益財団法人群馬健康医学振興会
理事長 森川 昭廣 殿


公益財団法人群馬健康医学振興会

監事

鈴木 庄亮 

公益財団法人群馬健康医学振興会

監事

梅枝 定則 

監 査 報 告 書

私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。

その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討致しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。